

## 融雪期斜面災害の要注意箇所抽出方法の検討

高柳剛 布川修

積雪地帯の鉄道沿線斜面では、融雪水の浸透を誘因とした土砂災害(融雪災害と呼ぶ)が発生する場合があります(図)、列車の安全をより高める為に、融雪災害の要注意箇所を抽出する定量的な手法が求められています。本研究では、過去に鉄道で発生した融雪災害事例を収集し、融雪災害の被災箇所と被災箇所の近傍で災害を経験していない箇所(以下、未被災箇所)の両方で簡易動的コーン貫入試験等の現地調査を行いました。そのうえで、この現地調査結果を用いて鉄道総研が開発した降雨時斜面災害の危険度評価手法を適用し、融雪災害の要注意箇所抽出の際の同手法の有効性を検証しました。その結果、未被災箇所よりも被災箇所の方が同手法で求められる評価点が小さい、す

なわち、災害発生の危険度が高いと評価されることを明らかにしました。



図 融雪期の斜面崩壊(融雪災害)の例